



芸術資源研究センターシンポジウム

# ほんまのところはどうなん、『アーカイブ』 ～初心者にもわかるアーカイブ論～

9月19日(土曜日)

13:00-17:30

会場：京都芸術センター フリースペース  
京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町 546-2  
主催：京都市立芸術大学芸術資源研究センター  
参加無料（事前申込不要）

## プログラム（仮）

- その0：「プロローグ：ボクにもわかるように話して」（話者：森村 泰昌）
- その1：「なんでそんなもんが出来てきたん」（話者：林田 新）
- その2：「なにがおもしろいのか教えてください」（話者：佐藤 守弘）
- その3：「アーカイブは病やて言うてる学者がいるらしい」（話者：加治屋 健司）
- その4：「アーカイブを芸術にする人が増えてきた」（話者：加須屋 明子）
- その5：「忘れることはよくないことですか」（話者：石原 友明）
- その6：「討論：ほんまのところはどうなん、『アーカイブ』（全員）」

本イベントは、京都市立芸術大学芸術資源研究センターが主催する公開シンポジウムです。客員教授・特別招聘研究員を務める美術家の森村泰昌氏を迎え、今日の芸術文化において関心が高まっている「アーカイブ」について、教員・研究者がともに話し合います。自らを「アーカイブ初心者」と呼ぶ森村氏が、アーカイブに関して分からないことを研究者に聞いてみるという趣向です。「なぜ、いまの美術でアーカイブが話題となっているのか」を一緒に考えませんか。